

安曇野市リビングウィル（事前指示書）の発行について

本人が自分の意思で選択ができ、人生の最期まで自分らしい生活をおくることができるよう、本人があらかじめ終末期の医療やケアについての意向を書面に残しておく「安曇野市リビングウィル（事前指示書）」（別添）を安曇野市医師会とともに作成しました。

1. 目的

人生の最終段階における医療やケアの方向性を本人自らが前もって意思表示しておくことで、本人の価値観や人生観を尊重し、尊厳を守ることを目的とする。

2. 効果

（1）自己決定権の尊重

本人が人生の最終段階において医療やケアを選択することで、個人の自己決定権が尊重される。

（2）家族や医療・介護関係者等との方針の共有

意思表示ができなくなった場合に、家族や医療・介護関係者が本人の希望した医療やケアの判断を行う手がかりとなる。判断をする際には、家族の心理的負担を軽減する効果も期待できる。

3. 発行・運用開始

令和8年1月5日 午前8時30分～（松本広域消防局警防課と協議済）

高齢者介護課及び市内3か所の地域包括支援センターへ設置し、対面で説明の上、配布する。

4. 広報・周知

12月18日 プレスリリース、ホームページ公開（様式はサンプルを掲示）

1月22日 広報あづみの周知